



幸せの国創りは土佐の山間より
～ウェルビーイングな日本を目指して～

第38回 全国経済同友会セミナー

高知大会

前夜祭

2026年4月15日(水)

18:00開場・開宴(高知流0次会スタート)

※乾杯のご挨拶は18:30に行います

「高知らしさ」と「おもてなし」を融合させた、土佐流大宴会

【会場】ひろめ市場(全館貸切)

日時

2026年4月16日(木) 13:00～

4月17日(金) 9:10～

会場

高知県民文化ホール(オレンジホール)

※2026年1月より「新来島高知重工ホール」に名称変更予定



高知大会PR動画はこちらから!



ウェルビーイングとは

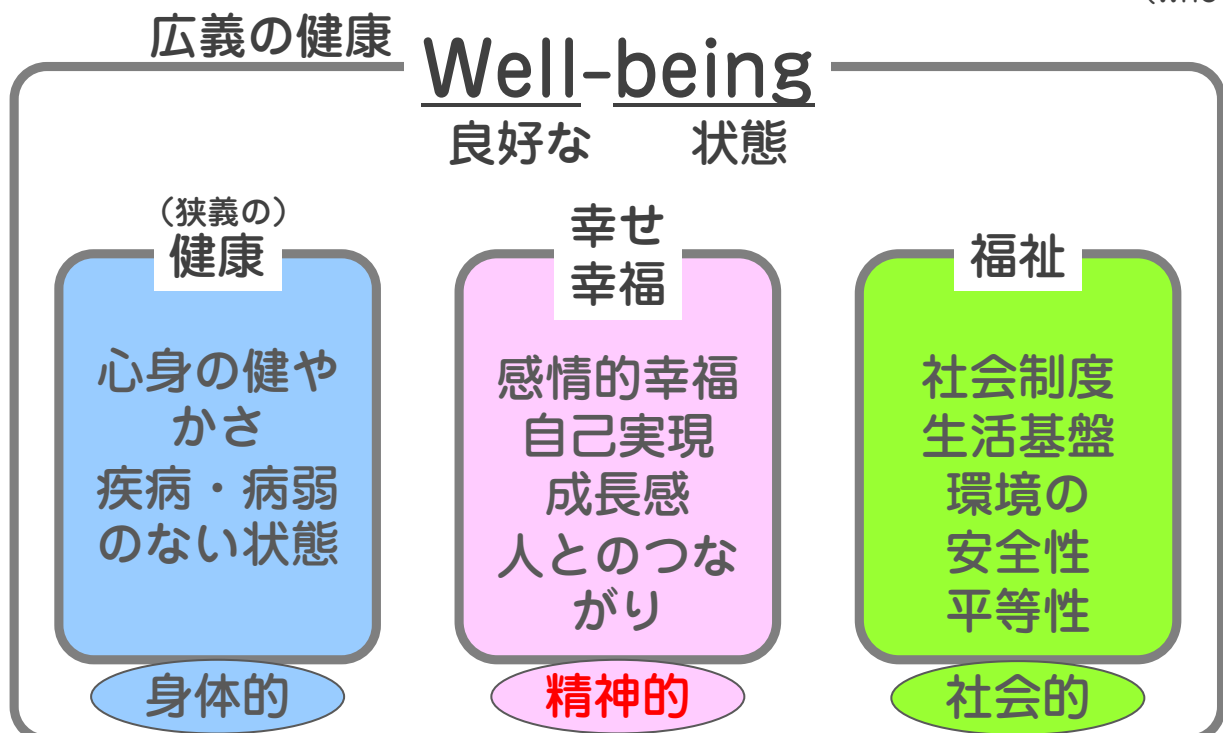
- ウェルビーイング（Well-being）は、
well（良い）+being（状態）
直訳では、「良い状態」のことを言います

WHO（世界保健機関）では「健康」の定義に「ウェルビーイング」を含め、「健康とは、身体的、精神的、社会的に完全に良好な状態であり、単に病気や虚弱がないということではない」としてます。



ウェルビーイングとは

健康とは身体的・精神的・社会的に良好な状態にあること
(WHO1946)



第38回全国経済同友会セミナー



ウェルビーイング社会の実現を目指して

土佐経済同友会 刈谷 敏久

高知家

質問？

あなたはお住まいの地域
で暮らして
幸せだと感じますか？

しかし！

2011年に衝撃的な発表があった

4

日本でいちばん幸せでない県民？

40の指標で幸福度をランキング！
日本でいちばん幸せな
県民 ケンミン



坂本光司
 及幸福度指数研究会

総合ベスト3は意外にもあの地域!!

悩みやストレスを抱える人が少ない県は？ >>> 1位 沖縄
 この地方が1世帯当たりの負債額が少ない！ >>> 1位 広島
 社員が辞めないで長く働くところは？ >>> 1位 山形
 交際費をいちばん多く使うのはここだ！ >>> 1位 長野
 どこが1日のくつろぎ時間が長いのか？ >>> 1位 大阪

PHP

坂本光司（法政大学教授）PHP出版 2011年11月

順位	都道府県	評点
1	福井	7.23
2	富山	7.20
3	石川	6.90
4	鳥取	6.63
・	・	・
12	香川	6.10
・	・	・
16	徳島	6.00
・	・	・
27	愛媛	5.73
・	・	・
46	高知	5.00
47	大阪	4.75

5

2016年～2022年4回連続最下位、一昨年44位



順位	都道府県	22年順位
1	福井県	1
2	東京都	3
3	富山県	4
4	長野県	5
・	・	
25	香川県	26
・	・	・
35	徳島県	35
・	・	・
42	愛媛県	39
44	高知県	47
45	大阪府	46
46	青森県	45
47	沖縄県	44

県民所得は少ない

一人当たり県民所得 県民経済計算（平成23年度 - 令和4年度）

（単位：千円）

順位	都道府県	平成23年度 2011	平成24年度 2012	平成25年度 2013	平成26年度 2014	平成27年度 2015	平成28年度 2016	平成29年度 2017	平成30年度 2018	令和元年度 2019	令和2年度 2020	令和3年度 2021	令和4年度 2022
1	東京都	5,219	5,327	5,642	5,649	5,841	5,761	5,843	5,920	5,724	5,201	5,730	6,037
2	愛知県	3,368	3,521	3,678	3,708	3,929	3,763	3,838	3,851	3,675	3,431	3,604	3,819
3	茨城県	2,924	2,857	2,892	2,919	3,137	3,149	3,370	3,387	3,322	3,141	3,452	3,481
4	静岡県	3,080	3,097	3,237	3,218	3,359	3,363	3,423	3,434	3,390	3,139	3,303	3,478
5	群馬県	2,859	2,912	3,089	3,108	3,254	3,265	3,367	3,321	3,275	3,021	3,235	3,467
6	栃木県	2,973	2,948	3,163	3,136	3,312	3,337	3,453	3,457	3,393	3,132	3,306	3,435
7	和歌山県	2,743	2,776	2,916	2,834	2,811	2,996	2,871	2,961	2,950	2,763	3,115	3,375
8	山梨県	2,686	2,616	2,772	2,666	2,838	2,821	2,976	3,074	3,045	2,995	3,271	3,362
9	富山県	2,970	2,942	3,035	3,077	3,228	3,121	3,229	3,338	3,313	3,105	3,280	3,347
10	滋賀県	2,947	2,880	3,018	3,002	3,134	3,276	3,402	3,384	3,361	3,120	3,203	3,292
⋮													
40	岩手県	2,370	2,510	2,695	2,695	2,619	2,659	2,764	2,800	2,779	2,648	2,672	2,709
41	青森県	2,398	2,408	2,431	2,434	2,608	2,538	2,611	2,591	2,641	2,566	2,646	2,704
42	高知県	2,264	2,276	2,426	2,448	2,543	2,600	2,652	2,642	2,663	2,475	2,661	2,703
43	長崎県	2,233	2,176	2,211	2,160	2,412	2,512	2,557	2,604	2,607	2,481	2,580	2,570
44	岡山県	2,559	2,507	2,675	2,579	2,818	2,798	2,886	2,774	2,753	2,638	2,753	2,553
45	鳥取県	2,091	2,167	2,255	2,237	2,388	2,431	2,545	2,515	2,501	2,343	2,527	2,491
46	宮崎県	2,123	2,133	2,253	2,252	2,339	2,394	2,465	2,464	2,437	2,298	2,429	2,453
47	沖縄県	2,034	2,020	2,101	2,093	2,198	2,284	2,315	2,323	2,335	2,156	2,240	2,249
	全県計	2,991	3,005	3,136	3,139	3,276	3,284	3,371	3,393	3,345	3,143	3,331	3,448

高知県民は本当に 不幸せ なのか？

8

高知県の全国1位

項目	内容
カツオの消費量（R4～R6平均）	7,370円 3,661g（高知市）
茄子の出荷額（R5）	131億円
ミョウガの生産量（2022）	4,899t/5,387t（全国の91%）
甲子園勝利数（～2023年夏）	28.40勝（人口10万人当たり）
病院数（R3）	17.8施設（ㄱ）
教員一人当たり生徒数（2024）	7.9人（公立中学校）
男女間賃金格差（2023）	80.4%（男性=100）
森林面積	83.6%（全国平均67.1%）

・
・
・

9

いいところがあっても

結局

経済指標が悪ければ

不幸せなのか？

日本一輝ける

田舎

でいいのでは？

土佐経済同友会の取組

12

高知家

土佐経済同友会の取組

2007年8月 「高知県経済活性化の方向性と活性化策に関する提言」をとりまとめ、高知県のあるべき将来像として「**日本一の田舎**」を目指すべきとして、知事に提言書を提出した。

2011年12月 「高知県10年ビジョンの提言」において、10年後に目指すべきトータルビジョン『「**日本一の幸福実感県・高知**」～**土佐的循環型・共生社会の実現**』を目指すとした。

そのサブビジョンの中で、高知県独自の幸福度指標（**高知県民総幸福度GKH〈Gross Kochi Happiness〉**）を導入し、「日本一の幸福実感県・高知」の魅力を全国に発信し、地域ブランドとして確立する、という目指すべき姿が提唱されている。

13

土佐経済同友会の取組

- 2012年2月 GKH委員会が設置される
- 2012年12月 **第1回目のGKHアンケート**を実施
- 2013年11月 「高知県GKH県民会議（仮称）設置の提言」
- 2013年12月 第2回目のGKHアンケートを実施
- 2014年8月 『「高知家」の家族会議～高知県の幸福度を考える県民会議』（通称「GKH県民会議」）が県内各界各層から46の個人、団体が参画し発足
- 2014年11月 第1回目の『「高知家」の大家族会議』を開催
- 2015年10月 第2回目の『「高知家」の大家族会議』を開催
- 2016年6月 第3回目のGKHアンケートを実施
- 2016年10月 第3回目の『「高知家」の大家族会議』を開催、**GKH指標を発表**、GKH県民会議は解散した

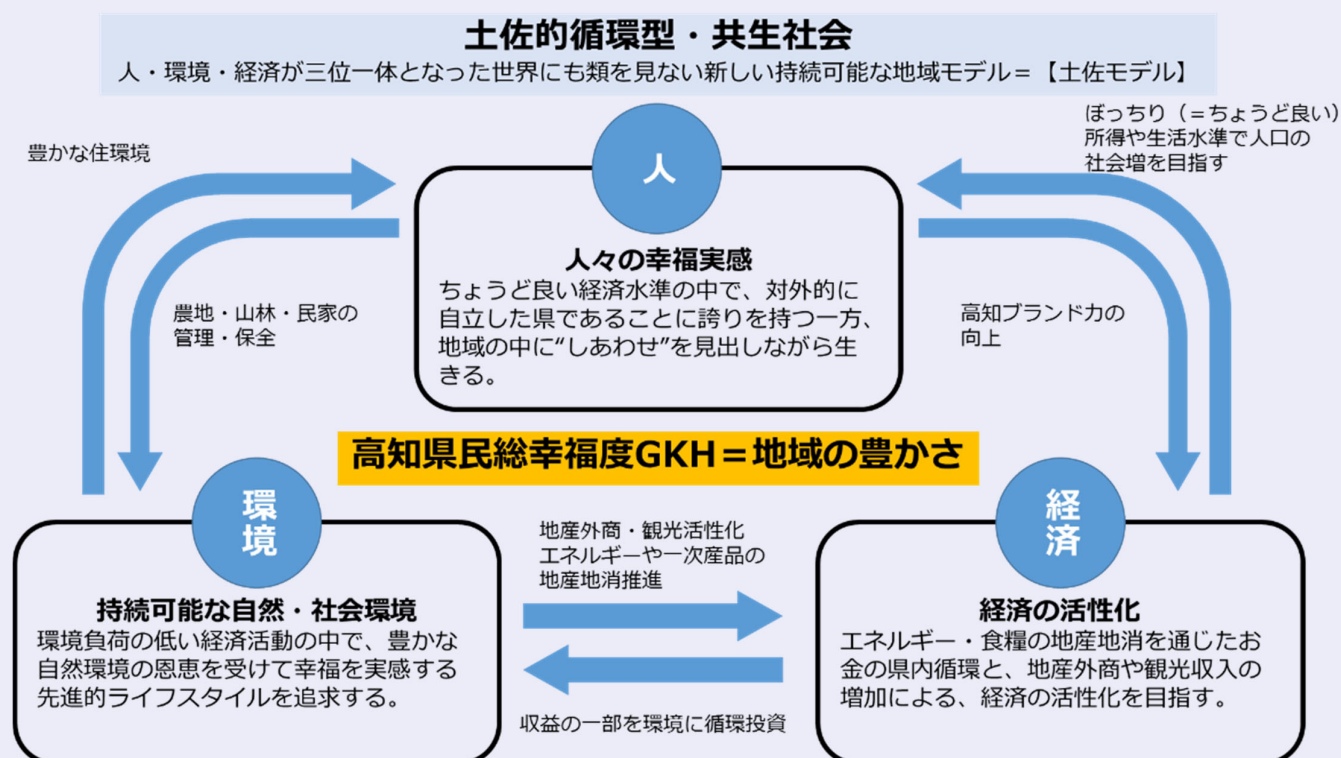
土佐経済同友会の取組

- 2017年5月 熊本県庁を訪問しAKH（熊本県民総幸福量）とGKHとの意見交換をする
- 2018年1月 GKH委員会が廃止
- 2019年2月 GKH委員会再開
- 2019年7月 **第4回目GKHアンケート（以降毎年実施）**
- 2019年10月 （一社）しあわせ推進会議設立
- 2020年3月 提言「高知県における幸福度調査と、それによる政策への反映」
- 2021年11月 **働く人**に関する幸福度アンケート（高知大学との共同研究）
- 2021年11月 **子ども**の幸福度調査（同）

土佐経済同友会の取組

- 2022年1月 提言「高知県民総幸福度GKHを中核とした社会づくり」の中で、
「土佐的循環型・共生社会」の実現を唱え、
- 人々の幸福実感（人）
 - 持続可能な自然・社会環境（環境）
 - 経済の活性化（経済）
- を、GKHを中核とした社会を構成する3要素と位置づけ、三位一体となって循環・共生する世界観を追求し、身の丈に合った（ぼっちりな）持続可能な未来の社会スタイルの構築へ向かう事を、目指すべきトータルビジョンとした。

土佐的循環型・共生社会（土佐モデル）



土佐経済同友会の取組

2023年1月 提言「2023 高知県10 年ビジョン～【ヒト】・【自然環境】・【経済】が三位一体で循環・共存する社会の実現～」(政策部会)

2023年5月～8月 教員に関する幸福度調査

2025年10月 「高知県幸福白書」 発刊

高知県幸福白書



過去10年間のGKHアンケート調査の集大成として発刊

- 土佐経済同友会による高知県の幸福度向上に向けた歩み
- GKH調査の総括
- 「高知県版ウェルビーイング」社会の実現に向けて

幸福度向上に向けた自治体政策と運営

働く人の幸福度調査と幸福度向上

子どもの幸福度調査と幸福度向上モデル

幸福度向上を目指す取組事例

等

過去のGKHアンケート結果

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
	2012年	2013年	2016年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
アンケート実施時期	12月5日 ～ 12月31日	12月10日 ～ 1月7日	6月1日 ～ 6月30日	7月17日 ～ 7月30日	7月1日 ～ 7月21日	7月1日 ～ 7月21日	7月1日 ～ 7月21日	7月1日 ～ 7月21日	7月1日 ～ 7月21日	7月1日 ～ 7月31日
調査対象(*)	高知県在住 中学生以上	高知県在住 満20歳以上	高知県在住 満15歳以上	高知県在住 満15歳以上	高知県在住 満15歳以上	高知県在住 満15歳以上	高知県在住 満15歳以上	高知県及び 県外在住 満15歳以上	高知県及び 県外在住 満15歳以上	高知県及び 県外在住 満15歳以上
回答者数 (うちWeb)	4,009 —	2,844 —	8,911 —	4,078 (1,776)	4,016 (1,540)	4,352 (2,423)	3,315 (2,174)	3,607 (2,797)	3,439 (2,746)	2,206 (2,206)
高知で暮らして 幸せ(**) (数値化平均点)	73.0% (3.80点)	69.0% (3.90点)	61.8% (3.81点)	57.7% (6.66点)	59.2% (6.75点)	57.0% (6.66点)	58.9% (6.67点)	55.0% (6.60点)	57.9% (6.65点)	65.0% (6.97点)
(*) 第9回は高知県外在住者298名、第10回は高知県外在住者50名から回答を得た。 (**) 第1回～第3回は5段階回答で、5. 大いに感じる、4. 感じる に分類された割合 第4回～は10段階回答で、7. ～ 10. に分類された割合										

高知家

6:48

コロナ禍でも

NEWS▶ 県民の総幸福度 微増

6:19

SUN TV

10/3「土佐の日」にサミット

高知で「しあわせ」感じてますか？

PRIME F 「幸福度」は何%？

高知で暮らして幸せです

6:21

土佐の日に幸せを考える

土佐経済同友会

毎年、高知県独自の幸福度「GKH」(Gross Kochi Happiness)を策定

6:20

高知で「しあわせ」感じてますか？

高知県民総幸福度(GKH)に関するアンケート結果 確定版

2025年10月3日

県民総幸福度

「土佐経済同友会」「しあわせ推進会議」が幸せの価値観について独自に調査

指標 県民総幸福度アンケート

57%が「幸福」実感

みんなが幸せになる経営

16:00～16:55

パネラー 堀越寛様 伊原食品・農産物振興課

横田英毅様 高知県民総幸福度推進会議

木村祐三様 高知市健康・生活文化推進課

MC 大田光章 高知市健康・生活文化推進課

colorful

幸福度 微増

2025年のGKH（高知県民総幸福度）調査

【10段階尺度】による幸福実感

現在



10年後



全体の幸福実感（普段どの程度幸福だと感じていますか？）について、平均値は**6.97**であった。
前年度（6.65）より0.32高くなった。

※小数点第2位切り上げて各%を表示

※参考：Word Database of Happiness (WDH) によると日本の主観的幸福度の平均は6.1（2013年）

出典：R. Veenhoven, Happiness in Japan (JP), World Database of Happiness, Erasmus University Rotterdam, The Netherlands.

Viewed on 2019-09-17 at worlddatabaseofhappiness.eur.nl.

10年後の幸福実感を問うたところ中高位の実感度が下がり、平均値は**6.72**となった。

現在の実感度の「8」「7」が下がり、全体的に下位にシフトしている。

将来について楽観的に考えていない事がうかがえる。

※小数点第2位切り上げて各%を表示

高知県下全自治体へのフィードバック

高知県内34市町村全てで同じアンケートを実施し、
フィードバック

幸せリーグ、市町村でのコミュニティづくりへの参考

質問項目 \ 地域毎回答数・平均値		安芸広域	物部川流域	高知市	嶺北広域	仁淀川流域	高幡広域	幡多広域	全体	県外
		135	246	1169	52	225	113	209	2,149	50
幸福度	普段どの程度幸福だと感じていますか	6.92	6.70	7.08	6.85	6.91	7.21	6.66	6.97	7.36
	10年後どの程度幸福だと感じていると思いますか	6.52	6.48	6.83	6.65	6.75	6.80	6.50	6.73	7.70
人生満足度	ほとんどの面で、私の人生は私の理想に近い	4.16	4.20	4.36	4.46	4.18	4.22	4.05	4.28	4.44
	私の人生は、とても素晴らしい状態だ	4.36	4.46	4.62	4.42	4.44	4.65	4.37	4.54	4.62
	私は自分の人生に満足している	4.50	4.48	4.65	4.81	4.38	4.52	4.46	4.57	4.70
	私はこれまで、自分の人生に求める大切なものを得てきた	4.70	4.61	4.81	4.83	4.62	4.65	4.52	4.72	4.84
	もう一度人生をやり直せるとしても、ほとんど何も変えないだろう	3.76	3.59	3.58	4.19	3.47	3.32	3.41	3.56	3.58

各項目の無回答（0）を除く

赤字（値が最も高い地域）

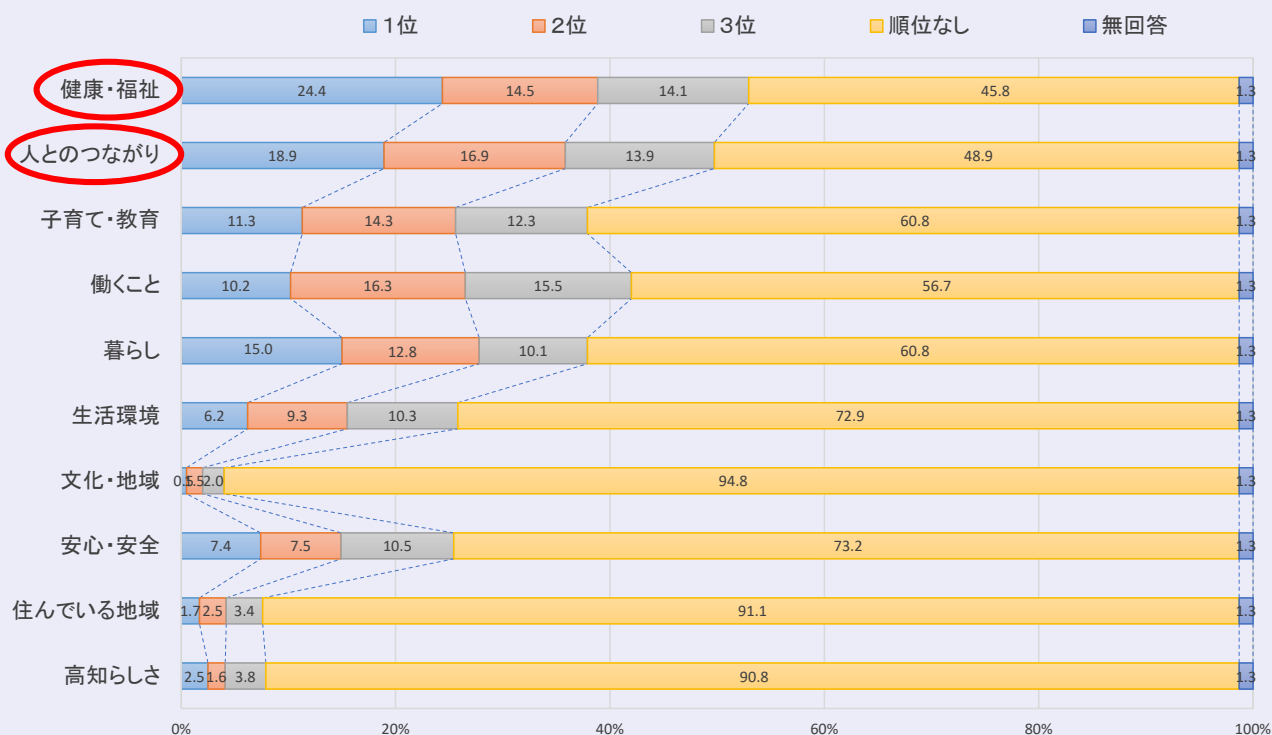
青字（値が最も低い地域）

しあわせリーグ（高知県版）が発足

2025年10月、高知県下34自治体とともに15年にわたるGKHアンケートの結果を糧とし、相互に学び合い高め合うことを通じて、誰もが幸福を実感できるあたたかい地域社会を手を携えて築いていくことを目指して、『高知県版しあわせリーグ』が発足した



幸せにとって重要だと思うことの順位 (GKH2024)



何が幸福にさせているのか？（GKH2023）

様々な実感を問う質問（1～5段階）で「5.大いに感じる」と回答した人のうち、問1で「幸福に分類される人」の割合が多い事項の上位10位を抽出。

順位	項目	「5.大いに感じる」と回答した人のうち幸福に分類される割合
1	仕事（専業主婦にとっての家事を含む）と生活とのバランスが取れていると感じますか	90.0% (288/320)
2	あなたは、精神的に余裕のある生活を送ることが出来ていると感じますか	89.8% (317/353)
3	仕事（専業主婦にとっての家事を含む）にやりがいや充実感を感じますか	88.8% (477/537)
4	心身ともに健康的な生活を送ることができていると感じますか	87.9% (622/708)
5	所属している組織に愛着がありますか	85.6% (572/668)
6	あなたは、経済的に困らない生活を送ることができていると感じますか	84.8% (631/744)
7	あなたは（お住まいの都道府県）で暮らして幸せだと感じますか	84.0% (678/807)
8	あなたは、家庭や職場、学校、地域などで、自分の役割があったり、自分の居場所があったりすると感じますか。	84.0% (982/1,169)
9	お住まいの地域は暮らしやすい生活環境であると感じますか。	83.5% (601/720)
10	あなたは、自分の余暇の過ごし方に満足していると感じますか	82.7% (417/504)

何が不幸にさせているのか？（GKH2023）

様々な実感を問う質問（1～5段階）で「1.まったく感じない」と回答した人のうち、問1で「不幸に分類される人」が割合が多い事項の上位10位を抽出。

順位	項目	「1.まったく感じない」と回答した人のうち不幸に分類される割合
1	あなたは、家庭や職場、学校、地域などで、自分の役割があったり、自分の居場所があったりすると感じますか	64.9% (37/57)
2	あなたは（お住まいの都道府県）で暮らして幸せだと感じますか	51.1% (48/94)
3	心身ともに健康的な生活を送ることができていると感じますか	51.0% (52/102)
4	あなたの生活水準はどの程度だと感じていますか（とても貧しい1→最も豊か5）	45.9% (28/61)
5	いざという時に頼れる人が身近にいると感じますか	45.5% (30/66)
6	日常生活において、治安が守られていると感じますか	44.8% (13/29)
7	あなたは、精神的に余裕のある生活を送ることが出来ていると感じますか	41.7% (91/218)
8	あなたは（お住まいの都道府県）を好きだと感じますか	40.4% (46/114)
9	お住まいの地域は居心地が良いですか	39.5% (30/76)
10	子どもたちが安心して生活できていると感じますか（通学、遊びの場、学校を含む）	35.3% (30/85)

幸福理由カテゴリ別ランキング

GKH2025の回答分析

順位	カテゴリ	件数	割合
1	家族関連（家族、配偶者、子ども、親など）	327	27.50%
2	生活の安定・充実（不自由なく生活、平穏など）	316	26.60%
3	健康関連（健康、元気、病気がないなど）	220	18.50%
4	自然・環境・食（自然豊か、食べ物がおいしいなど）	161	13.60%
5	仕事・キャリア関連（仕事が充実、職場環境など）	150	12.60%
6	人間関係・周囲の人々（友人、仲間、恵まれているなど）	108	9.10%
7	経済的安定（収入、お金に困らないなど）	96	8.10%
8	ワークライフバランス（公私のバランス、趣味など）	74	6.20%
9	やりたいこと・自己実現	49	4.10%
10	※複数カテゴリに該当する回答多数	-	-

28

代表的な幸福理由の回答例

GKH2025の回答分析

カテゴリ	回答例
家族関連	家族みんな健康で仕事と家庭生活を送ることができており、余暇も楽しめる余裕があるので。
家族関連	裕福ではないものの、夫と娘が健康で、自分の家族も近くにおり、義実家との関係もすこぶる良好であるため
生活の安定	不自由なく生活できているから
生活の安定	毎日の生活が充実しているから。
健康関連	毎日元気に過ごせている。周りの人もあったかい
健康関連	病気や怪我もなく、お金に困窮する状態でもないから。
仕事・バランス	仕事も家庭生活もバランスがとれているから
仕事・バランス	仕事とプライベートが充実しているから
自然・環境・食	自然豊か、近所の人に野菜をもらえたり人間関係良好
人間関係	周りに恵まれて楽しく過ごしている。
自己実現	自分がやりたい、やってみたいと思うことが、出来ているから

29

第38回全国経済同友会セミナー

課題整理



ウェルビーイング社会の実現を目指して

土佐経済同友会 刈谷 敏久

高知県民の総幸福度向上を目指して

高知県民の65%が「幸福」と回答しており、経済的には厳しい環境にありながらも「家族」「健康」「自然・食」「人の温かさ」といった非経済的要因が幸福感を支えている。

しかし、以下の層には重点的な支援が必要：

- 一人暮らし世帯（不幸率8.6%）→ 孤独対策
- 現業職（不幸率20%）→ 労働環境改善・賃金向上
- 「その他」性別回答者（不幸率27.3%）→ 多様性への理解促進
- 20-30代（幸福率57-58%）→ 経済的不安の解消

「経済成長だけでなく、人と人のつながり、自然・食の豊かさといった高知県固有の資源を活かしながら、取り残されがちな層への支援を強化し、全県民が幸福を実感できる高知県を目指す」ことが重要ではないだろうか

経済指標は大切 でも、それだけでは足りない

経済は、間違いなく重要。

しかし、経済だけで幸福は説明できず、幸福のための
“必要条件”ではあっても、“十分条件”ではない。

GDPや所得だけで地域を評価すると、本来その地域が
持っている価値や強みが、見えなくなってしまう。

これは幸福だけでなく、地域経済の評価や、地域政策の
あり方にも共通する問題。

地方の経済規模が小さいことは、幸福の低さを意味せず、
都市と地方の比較は、幸福の本質を捉えないのでは。

経済は必要条件だが十分条件ではない

幸福理由カテゴリ別ランキング

GKH2025の回答分析

経済力をカバーする幸福要因（幸福理由分析）

順位	要因	説明	経済との関係
1	家族関連	「家族がいる」「周りに恵まれている」等が最多要因（27.5%）	経済力と独立した幸福源
2	生活の安定感	「不自由なく生活」「平穏」等（26.6%）	高収入を必要としない
3	健康	「健康である」「元気に過ごせる」等（18.5%）	経済力との相関は低い
4	自然・環境・食	「自然が豊か」「食べ物がおいしい」等（13.6%）	高知県特有の無料資源
5	仕事の充実感	「やりがいがある」「職場環境が良い」等（12.6%）	給与額より内容を重視
6	人間関係	「友人」、「仲間」に恵まれている（9.1%）	人間関係を重視
7	経済的安定	「収入」、「お金」に困らないこと（8.1%）	経済的要素
8	ワークライフバランス	「仕事と私生活の両立」等（6.2%）	時間的余裕を重視

経済は必要条件だが十分条件ではない

GKH2025の回答分析

【経済力をカバーしている要因】

① 家族・人間関係の豊かさ（最大の代替要因）

→ 高知県の地域コミュニティの強さ、家族の近接性

② 自然環境と食の豊かさ（高知県固有の資源）

→ 海・山・川の自然、新鮮な食材へのアクセスは無料

③ ワークライフバランスの良さ

→ 通勤時間が短い、ゆとりある生活ペース

④ 「普通の生活」への感謝・満足感

→ 他県との比較ではなく、現状への肯定的評価

5

「ぼっちり」な価値観

『ぼっちり』の意味

『ぼっちり』は高知の方言で「ちょうどよい」を意味し、「足るを知る」の価値観

ちょうどよい豊かさの感覚

無限成長を前提とせず、生活に適した豊かさを重視する合理的な価値観

地域社会の幸福観

過度な拡大よりも身の丈に合った価値を重視し、持続可能な社会づくり

地域、地域に合った物差し

経済指数は低くても、この地域で生まれ、育ち、そして生涯を終える事に幸せはあっても、不幸はない

6

「ぼっち」な価値観が重要

- 外的基準の幸福（地位財）
 - 他者との比較・競争・評価
仕事（役職）、所得（給与）、社会的地位、家、自動車、等々
- 内的基準の幸福（非地位財）
 - 自分の価値観・満足感
愛情、自由、健康、自己実現、つながり、自然、等々

幸せは
長続きしない

幸せは
長続きする

7

「ぼっち」は比較から自由になる価値観

比較から自由になる幸福の形

都市部の幸福を下げる最大要因は「相対比較」ではないか

地方は比較圧力が弱く、幸福が“自分基準”になりやすい

「ぼっち」は、他者との競争ではなく、自分の生活の満足度を軸にする価値観である

8

「ぼっちり」は地方の持続可能性

人口減少や資源制約下での持続可能性の知恵

無限の成長・拡大を前提にしない

過剰消費を求めない

地域資源の範囲で暮らしを成立させる

コミュニティのつながりを重視する

しかし、地域経済の縮小や停滞を意味することではない

「経済指数では測れない幸福」を明確にする

地方の幸福は「都市の物差し」では測れない

地域の幸福は、経済規模よりも「生活の質」
「つながり」「安心感」で決まる

都市と地方の比較は、幸福の本質を捉えない
地域に合った物差しで地域の幸福を評価する
必要がある

ウェルビーイング経営を、どう捉えるか

「ウェルビーイング経営」、人を大切にする経営が広がっており、非常に良い流れになっている。従業員の幸福度を上げることが生産性向上や離職率低下につながり、結果的に地域経済にも好循環をもたらし、持続可能な地域社会の実現を期待することができる。

また、中小企業の経営資本は脆弱であり、従業員離職は経営の持続可能性に対し大きなリスク。

➤ウェルビーイング経営は喫緊の課題である。

従業員の幸福度向上は会社内だけでは限界がある。

企業は「地域ウェルビーイングの担い手」

私たちは、企業を「雇用の場」「利益を出す存在」だけではなく、地域のウェルビーイングを構成する重要な主体として捉え直す必要があると思っています。

ウェルビーイング経営は、地域・社会の幸福を高めるといった文脈の中でこそ、その価値を最大限に発揮すると考えます。

企業が地域の幸せを自分ごととして捉える事で、組織とその先にある地域や社会全体の幸せや豊かさが維持できるはずです。

地域の幸福から、社会の持続可能性へ

GKHの調査を通じて、
私たちは決して不幸ではないこと、
幸福の形は一つではないことと、
地域には地域なりの豊かさがあることを確認しました。

包摂的で寛容な社会とは、多様な幸せのあり方を
認め合う社会だと思います。

地域には地域の物差しがあり、その物差しの中で
地域で暮らす幸せを実感することが重要です。

高知県という一地方の取り組みではありますが、
この視点が、日本全体の未来を考える一つの材料
になれば、これほど嬉しいことはありません。

13

高知県版ウェルビーイングとは

高知県民が生きる上で日常実感する高知県独自の“豊かさ”を総称する「Well-being」のこと。それは、経済的に裕福ということだけではなく、仕事面や生活面を問わず、心的・精神的・身体的に満たされていて、人や地域など社会的つながりを保ちながら、次世代に継承していく日々の暮らしの豊かさや人生の生きる豊かさにも満たされていることを表す概念である。

これまで10回にわたって継続して調査を実施してきた高知県民総幸福度（GKH＜Gross Kochi Happiness＞：高知県民独自の“豊かさ”）を基盤にしており、一人ひとりが「実感している豊かさ」、いわば「高知県民の**主観的**ウェルビーイング」を【高知県版ウェルビーイング】と定義する。